

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 24日

事業所名 タイムこどもデイサービスかのん

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		利用者の成長期という事もあり、少し狭く感じる時があります。
	2	職員の配置数は適切である	○			スタッフの人数的には適切であると言えるが……
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		サンルームの下が埋まっていない事と、段差がところどころあります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			できていると思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		保護者からの意見を聞き、会議などでよく話し合っているつもりですが、保護者の中には、満足してない人もいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			3月末に法人HPIに、4月にデイ通信に掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			法人第三者委員が行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部・外部研修があり、出られれば出ています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			計画通りに行かないこともありますが、できていると思います。 *保護者に伝わっていない人もいる…
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			相談支援のものを活用させてもらっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			みんなの意見をよく聞くようにしているつもりです。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○		ガソリン代の事あり、あまり車は使っていないので同じ公園になってしまっていますが、遊ぶ内容を少し変化させてはいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日と夏休み・冬休みの活動は、違うことをしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別対応が必要な利用者様に対して個別支援を行ってはいませんが、みんなと別な行動はしていません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		会話の時の他に日常の会話で伝えていますが、スタッフ全員に伝わっているかと言われるとどちらとも言えない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		送迎があるので全員では行えないが、次の日にはスタッフと共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			チェックリストや活動報告書やノートに書いて、スタッフで共有しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			コロナのため思うようには行かなかったが、かのん会議で評価し、必要に応じ見直している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			毎年4月にガイドラインの勉強会を行い、個別支援プログラムに活かしている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時の引き渡しの際に、情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			該当なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		管理者及び児発管が相談支援と連携している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		管理者及び児発管が相談支援と連携している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナもあり交流はしていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	コロナで協議会が持たれなかったと思う。(連絡なし)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		事業所でもご家庭でも、同じ対処法を提供し合ったり、相談をよくしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	本当は、ペアレント・トレーニングをしなければならない方がいますが、法人の方針もありできなかった。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際、管理者が行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時、連絡帳、電話などで助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナで開催できなかった
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		本部と連携し迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		デイ通信、タイム通信を発行している。
	35	個人情報に十分注意している	○		会議で話したことは、他言無用といつも言っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		会議で話し合い、全体で共通理解しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナで開催できなかった。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	全てのマニュアルがあるのですが、その事が一部の保護者様に周知されていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災・地震・水害訓練は行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会があり、内部・外部研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		委員会があり会議等で話し合っています。計画にも記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーの利用者様はおり情報はあくはしていますが、医師の指示書はありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットはよく出て、会議等でかならず共有しています。